

科目名	慢性看護学Ⅴ特論 Advanced Lecture on Chronic Care Nursing Ⅴ
授業形態	講義
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋BC学期 水曜2・3時限
実施場所	共同利用棟B204
単位数	2単位
担当教員名	柴山大賀 Shibayama Taiga 日高紀久江 Hidaka Kikue 山海知子 Sankai Tomoko 阿部吉樹 Abe Yoshiki
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、下記に連絡・調整したうえで訪問すること taiga@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1) 慢性病者の治療環境や療養環境を質の高い生活に向けて調整する方策とその評価方法の理論と実際について説明できる。 (2) 慢性病者の発達課題に対応した支援技術および、慢性病者の治療環境や療養環境を質の高い生活に向けて調整する方策とその評価方法の理論と実際について、自らの意見をのべることができる。 (3) 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。
他の授業科目との関連	慢性疾患看護専門看護師養成課程のすべての科目
履修条件	将来的に慢性疾患看護専門看護師の資格を取ることを強く望む者 上記の希望について事前の面接により確認する
授業概要	慢性病者の治療環境を質の高い生活に向けて調整する方策とその評価方法の理論と実際について学ぶ。
キーワード	慢性病, 治療環境, 質
授業計画	(11月13日)病棟における治療環境の調整(1):退院調整と社会資源の活用(柴山) (11月20日)病棟における治療環境の調整(2):薬物療法とチーム医療(柴山) (12月4日)外来における治療環境の調整(1):外来看護の現状と課題(柴山) (12月11日)外来における治療環境の調整(2):看護専門外来(柴山) (12月18日)地域における治療環境の調整(1):病診連携の現状と課題(柴山) (12月25日)地域における治療環境の調整(2):難病支援の現状と課題(サポートネットワークづくり)(阿部) (1月8日)居宅における治療環境の調整(1):在宅看護の現状と課題(柴山) (1月15日)居宅における治療環境の調整(2):在宅での自己管理指導と家族指導(日高) (1月29日)職場における治療環境の調整(1):産業保健の現状と課題(山海) (2月5日)職場における治療環境の調整(1):産業保健の現状と課題(阿部)
学修時間の割り当て及び授業 外における学修方法	事前に与えられた課題を準備してくること。
成績評価方法	5分の4以上の出席を単位取得の要件とし、最終評価が満点の60%以上をもって単位を認定する。  <評価方法と評価配分> プレゼンテーションに基づく口頭試問 100%  <評価基準> 各回のプレゼン内容を以下の要領で3点満点で評価し、10回分の合算(30点満点)に基づいて最終評価とする。 3=十分な根拠資料に基づいた説明がなされ、論理的な一貫性と十分な説得力がある。 2=一定の根拠資料に基づいた説明がなされ、一定の説得力がある。 1=根拠資料の提示に不足があり説得力を欠いているが、理解可能である。 0=説得力がなく理解不能な内容である。あるいは欠席した場合。
教材・参考文献・配布資料等 その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	必要時、担当教員から提示する。 遅刻、途中退出、やむを得ず欠席する場合の扱いについては、受講生の状況を鑑みて決定する。